

## ■ 定住自立圏形成協定に基づき推進する政策分野毎の基本目標と具体的取組の成果指標の考え方

圏域の将来像	政策分野		施策	事業		現状値の出典元		
	大事項	中事項		重要業績評価指標(KPI)	現状値(調査時点年度)			
		基本目標(数値)			目標値(達成年度)			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>安心と交流でつながる 南北海道</b> </div> <p>■人口目標</p> <p>平成27年 圏域内人口 442,668人 老年人口(高齢化率) 32.8%</p> <p>平成52年 圏域内人口 320,000人 老年人口(高齢化率) 40%</p>	(1)生活機能の強化	ア 広域医療体制等の充実	圏域内の救急医療を安定的に提供する体制を整えます。 (ドクターヘリの圏域内カバー率 H26:100%→ H30:100%)	① 広域救急医療体制の充実	■広域救急医療体制の充実 (ドクターヘリの運航)	事前選定冬期間使用可能ランデブーポイントの箇所数(向上)	46箇所(総箇所数302箇所)(平成28年) H30>H28(平成30年度)	道南ドクターヘリ事務局(市立函館病院事務局)
					■医療情報共有化の推進(南松山)	利用医療機関数(維持)	5病院, 5診療所(平成28年度) 5病院, 5診療所(平成30年度)	江差町
			■脳疾患救急搬送体制の運営支援(南松山)	中心市の受入医療機関数(維持)	3病院(平成26年度) 3病院(平成30年度)	江差町		
		② 初期救急医療体制の充実	■初期救急医療体制の充実	函館市夜間急病センター利用者数(維持)	19,475人(平成26年度) 19,460人(平成30年度)	夜間急病センター町別統計(市立函館保健所)		
	イ 広域観光の推進	圏域の産業振興のため、観光入込客数の増加を目指します。 (観光入込客数 圏域内 H26:1,162万人→ H30:1,352万人 ※1)	① プロモーション活動の実施	■広域観光推進に係るプロモーション活動およびイベント等の実施	プロモーション活動実施回数(向上)	延べ:国内135回, 海外14回(平成26年度) 累計(延べ):国内600回, 海外60回 (平成27~30年度)	各市町実績合計	
			② 滞在型観光促進に資する観光メニューの共同開発	■滞在型観光メニューの共同開発	観光客の平均宿泊数(向上)	1.17日(平成26年度) H30>H26(平成30年度)	北海道経済部 北海道観光客入込客数調査報告書	
	(2)結びつきやネットワークの強化	ア 地域公共交通の維持・確保	バス事業等を支援し、圏域内住民の移動手段の維持・確保を図ります。 (路線バス等の認可距離の合計 H27:1,244.7km→ H30≥H27)  いさりび鉄道:37.8km 函館バス:1,206.9km H28年3月現在	① 圏域内における公共交通手段の維持および確保等	■第三セクター鉄道への支援	1日の運行本数(上下計)(維持)	37本(平成27年度) 37本(平成30年度)	道南いさりび鉄道 運行時刻表
					■生活バス路線の維持・確保	路線バス利用者数の増減率(A)と人口増減率(B)の差(維持)	$A(+2.1\%) > B(-1.24\%)$ (平成26年度) $A \geq B$ (平成30年度)	路線バス利用者数の増減率:函館バス(株)事業報告書 人口:北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課調  ・路線バス利用者数の増減率の計算式 《(対象年度末)-(前年度末)》利用者/前年度利用者×100 ・人口増減率の計算式 《(対象年度末)-(前年度末)》人口/前年度末人口×100 H26:(451,772-457,439)/457,439×100=-1.24%
					■交通系ICカードシステムの導入支援	乗車カード利用率(向上)	磁気カード利用率:59.6%(平成26年度) ICカード利用率 > 磁気カード利用率(平成30年度)	函館バス(株) 乗車カード利用率(%)の計算式 乗車カード利用金額/運賃収入×100
		イ 基幹道路等ネットワーク整備の促進	幹線道路の整備に戦略的に取り組みます。 (道路整備期成会要望活動回数 H26:4回→H30:4回)	① 圏域内における交通ネットワークの形成	■道路整備期成会活動の促進	道路整備期成会の組織数(維持)	4期成会(平成26年度) 4期成会(平成30年度)	土木部新外環状道路整備推進室内 各期成会事務局 期成会名:①函館広域幹線道路整備促進期成会 ②北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会 ③高規格道路函館・江差自動車道早期建設促進期成会 ④松前半島道路建設促進期成会
					■留学生受入体制の整備	外国人住民のうち在留資格等の区分が「留学」の人数	128人(平成26年度) H30>H26	各市町住民基本台帳 (住民基本台帳 在留資格等の区分別外国人住民調査表 4月末現在)
		ウ 国際化の推進	地域の活性化のために、多文化共生を促進し、外国人の受入体制の充実を図ります。 (外国人住民の人数 H26:1,486人→H30>H26) 北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課調 1月1日現在)	① 圏域における国際化の推進	■外国人観光客誘客による地域国際化	外国人宿泊客数(向上)	約37万人(平成26年度) 約62万人 ※2(平成30年度)	北海道経済部 北海道観光客入込客数調査報告書より 外国人宿泊客数
■職員研修に係る情報共有および合同研修の実施	合同研修の参加者総数(向上)				128人(平成27年度) 150人(平成30年度)	函館市人事課		
(3)圏域マネジメント能力の強化	ア 人材育成等	合同研修等により、効率的な人材育成に取り組めます。 (合同研修参加自治体数 H27:15→H30:18)	① 職員の合同研修等の実施	■高等教育機関との連携による地域マネジメント能力の向上	各プログラムにおける地域職員等の平均参加者数(向上)	35名(平成28年度) 50名(平成30年度)	江差町	

※1 目標値の考え方  
北海道戦略における当圏域内の観光客入込客数のKPIは  
H26:1,162万人→H31:1,400万人。  
この目標値を基準にH26から観光客が平均的に増加すると仮定し、  
H30の数値を以下のとおり試算した。  
(1,400万人-1,162万人)/5年×4年+1,162万人

※2 目標値の考え方  
北海道総合戦略における外国人観光客数(来道)のKPIはH26:  
154万人→H31:300万人(6年後に約2倍)。この目標値を基準に、  
H26から外国人観光客が平均的に増加すると仮定し(4年後に約66.7%の増)、  
H30の数値を以下のとおり試算した。  
369,183人×1.667=615,428人≒620,000人